



幕張支部は、十月二十六日、千葉職員集会所において支部定期大会を圧倒的にかちとり、十一月ストライキを突破口に一大反撃戦に起つことを満場一致決定し、ただちに態勢づくりに入った。

全組合員が活動家
となつてつき進もう

白井支部長
大会は、早朝九時半には執行部・委員

五一名が出席、吉野幸成（検・修分科会会長）氏を議長に選出、白井支部長から四〇分にわたり決意みなぎる挨拶をうけた。支部長は、三池炭鉱の闘いの教訓を述べたあと、「全組合員が活動家になつた決意で闘つて欲しい。自分も先頭で闘う」とキッパリと述べられた。その後来賓には鈴木千葉地区労議長、本部から中野委員長、布施書記長が出席され、両氏から一時間にわたり情勢と動労千葉の進むべき方向について展開され、会場も私語一つない緊張した空気に包まれた。

経過と教訓は、秋葉副支部長が提起、一年間の激闘と10・20の大決起について力をこめ報告する。会場からも「ヨーン」といった声もあがるなど一年間の運動のなかからひとまわり大きくなった支部の団結を感じられるものがあつた。

運動方針は滝口書記長、財政方針は石幡書記次長が提案、その後討論に入る。七名の代議員・傍聴者からやる気満々の決意と建設的意見が出された。六時間にわたる審議のなかから「十一月第一波ストを死中に活を求める決意で闘う」「勝

利するためには全組合員の団結と総行動が必要であり、五〇〇〇万署名、11・17日比谷集会などをスト態勢を築く観点からも全力をあげる」「支部長を先頭に一人の例外もない結束を」といった行動指針が提起され、ただちに実践に入った。また、支部大会には、中江昌夫船橋市議や東京実行委員会をはじめとして二四の団体から檄電・祝電を受け、支援・連帯の確実な広がりを知ることができた。

勝機をのがさず、
11月先制的にうって出よう！

確かに我々をとりまく情勢は決して予断を許さないものがある。しかし、我々は、マル生粉砕闘争、三里塚ジェット闘争、分離・独立戦など「勝てるはずがない」といわれた闘いを勝ちぬいてきた。我々には天の時（正義と大義）地の利（首都圏をマヒできる位置）人の和（闘う団結）の三条件が有る。

そして、多くの国鉄労働者とその家族は、怒りを充満させ、変革をまちのぞんでいる。

勝機をのがさず、先制的にうって出て分割・民営化―大量首切り粉砕、中曽根打倒の大河を創りだそう。

幕張支部は、最大支部としての自覚をもつて全支部の仲間と共に前進する。

第七回 団結祭典



日時―十一月三日（祭）九時集合
（雨天の場合は十一月四日）
場所―千葉鉄道学園グラウンド

サークル協最大の行事である第七回団結祭典を全組合員・家族の力で大成功させ、この間、ますます激化している国鉄「分割・民営化」―国鉄労働運動解体攻撃をはね返していこう！

当局の大クビ切り攻撃と闘い生活と権利を守るために、組合員・家族の親睦を深めることは極めて重要です。
十一月三日、午前九時にみんなでグラウンドに集まろう！

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

支部長を先頭に 幕張支部大会 火の玉となって奮闘する

〈幕張支部通信員・発〉

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！